

※()内は1人あたり額。

収入	41億2,411万円 (542,503円)	経常収入	38億2,746万7千円 (503,482円)
支出	39億3,538万3千円 (517,677円)	経常支出	38億6,586万6千円 (508,533円)
差引額	1億8,872万7千円 (24,826円)	差引額	▲3,839万9千円 (▲5,051円)



収支差引額 1億8,872万7千円 (24,826円)

経常外収入 2億9,664万3千円 (39,022円)

調整保険料収入 5,744万1千円
繰越金 1億8,000万円
財政調整事業交付金 5,879万1千円
不用財産等売却代 41万1千円

その他 1,902万6千円 (2,503円)

国庫負担金収入や利子収入など。

保険料収入 38億844万1千円 (500,979円)

毎月の給料や賞与から納めていただく、健保組合の主たる財源。

決算基礎数値

被保険者数	7,602人	
平均標準報酬月額	363,500円	
保険料率	事業主	52.25/1000
	被保険者	35.75/1000
	合計	88.00/1000



収入

納付金負担増により 経常赤字3,839万9千円 となりました

経常収支差引額 ▲3,839万9千円 (▲5,051円)

臨時的な収支を除いた単年度の実質的な財政状況を示す。

**3年ぶりの
経常赤字**

経常外支出 6,951万7千円 (9,145円)

調整保険料還付金 6千円
営繕費 1,230万円
財政調整事業拠出金 5,714万6千円
補助金等返還金支出 6万5千円

その他 259万9千円 (342円)

連合会費など。

保健事業費 7,246万9千円 (9,533円)

みなさんの健康づくりに役立てていただくための事業を賄う費用。

納付金 18億8,297万6千円 (247,695円)

高齢者医療を支えるための財源として健保組合が負担しなければならない費用。

保険給付費 18億9,783万円 (249,649円)

みなさんが受けた医療や、出産、死亡、休業に対する給付を賄う費用。

事務費 999万2千円 (1,314円)

健保組合の事務費用。



保険料収入の
1.9%に相当

保険料収入の
49.4%に相当

保険料収入の
49.8%に相当

平成25年度決算 ● 介護保険

収入

介護保険収入	3億3,419万7千円
合計	3億3,419万7千円

支出

介護納付金	3億1,921万5千円
介護保険料還付金	6万3千円
合計	3億1,927万8千円

収支差引額 1,491万9千円

決算残金は、すべて法定準備金に積み立てました。

決算基礎数値

徴収対象第2号被保険者数	3,692人	
平均標準報酬月額	411,764円	
保険料率	事業主	6.8/1000
	被保険者	6.8/1000
	合計	13.6/1000

決算のポイント

▼母体企業の業績好調により増収

保険料収入は、母体企業の好調な業績を背景に、被保険者数や平均標準報酬月額などが前年度を上回ったため、前年度比約1億4,000万円の増収となりました。

▼納付金負担が著しく増加

保険給付費は、被保険者数の増加、さらに被保険者1人あたりでも前年度比約5,300円増となったため、総額で前年度比約9,400万円の増加となりました。
65〜74歳の医療費の財源となる前期高齢者納付金の増加が著しく、前年度比約2億1,000万円の増加、納付金全体では約2億7,000万円の増加となりました。

▼3年ぶりの経常赤字

保険料は増収したものの、保険給付費や納付金の増加により、経常収支で3,840万円の赤字となりました。経常赤字が生じたのは3年ぶりです。

なお、総収支差引では1億8,870万円の残金が生じたため、翌年度への繰り越しや積立金に積み立てるなどして処分しました。

▼納付金負担はさらに増加の見通し

今後、高齢化の進展や医療技術の高度化によって医療費は増加し、とりわけ健保財政にとって納付金負担はより重くなるものと予測されます。当組合では、財政の健全化を図るため、これまで以上に慎重な事業運営に努めてまいります。健康保険組合の事業について、引き続き、みなさんのご理解とご協力をお願いします。